

福祉のまち いの町
 広報 第84号

社協だより



子どもの集いを開催しました

吾北あったかふれあいセンターこころ

今年の子どもの集いは、SDGsをテーマに活動を行いました。1日目は、SDGsについて学習した後に、昼食のカレーライスを作り、午後からは、四国電力株式会社の出前授業で、県内の発電所について話を聞いたり、自転車を漕いで発電する体験などもし、エネルギーの大切さを学びました。

2日目は、廃材を使って本立てを作り、昼食は、流しそうめんや竹の棒に生地を巻いて自分たちで焼いたパンを食べました。午後は、『あったか縁日』のお祭りを楽しみました。吾北中学校や吾北分校の生徒などのボランティアや地域の方々のご協力により、楽しい2日間となりました。



いの町あったかふれあいセンター

今年の夏も全力で楽しみました

8月16日(土) あったかふれあい伊野にて、スプレーアートやカレー作り、カラオケを楽しみました。夏休みの楽しい思い出となりました。



いの町社会福祉協議会 福祉教育の取り組み

いの町社会福祉協議会は、未来を担う方々への福祉教育を進めています。

いの町社会福祉協議会は、発足以降、福祉教育の推進を重点事業の一つに掲げ、主に町内の子どもたちを対象に福祉への理解や関心を深める活動を行っています。近年では、町内の5つの社会福祉法人で組織された「いの町社会福祉法人つながるかい」と協働し活動の幅を広げています。

福祉教育は、社協の活動の原点であると私たちは考えています。今後も福祉教育を通して、皆さんに福祉を身近に感じていただけるように努めてまいります。

取組内容

白杖・アイマスク体験

職場体験

車いす体験



防災学習

世代間交流

文化伝承

高齢者疑似体験



福祉について学んでみませんか？
内容は相談に応じます。興味がある方は下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

いの町社会福祉協議会

本所 ☎088(892)0515 吾北支所 ☎088(867)2820 本川支所 ☎088(869)2071

第18回

いの町健康まつり ポッチャ体験

10月26日(日)
9:00~12:00



いの町社会福祉協議会は、いの町健康まつりで「ポッチャ体験」を行います。ポッチャは、年齢、性別、障がい等にかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツです。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。ルールが簡単なので、小さなお子さんでも気軽に参加できます。皆さまのお越しをお待ちしています。

場所：すこやかセンター伊野内 機能回復訓練室

対象者：どなたでも参加できます

参加費：無料

※動きやすい服装でお越しください



【お問い合わせ先】 いの町社会福祉協議会 ☎088(892)0515

吾北あったかふれあいセンターこころ活動紹介

学び

集い・サテライトでは、日常生活に関する講座を開催しています。



消防講座



警察講座



交流

地域のこども園や小学生、高齢者などと世代間交流を行っています。



地域支援

地域活動のサポートなどを行っています。



その他にも、生活支援、一人暮らし高齢者の方への見守り訪問、相談やつなぎ、ちょっとした困り事などの対応をしています。お気軽に、お声がけください。

【お問い合わせ先】 吾北あったかふれあいセンターこころ ☎088(867)2755

いの町あったかふれあいセンター（Gの会の活動紹介）

Gの会 (いの町)
ふんどし
赤い禪隊 (佐川町)

料理交流懇親会



8月21日(木)すこやかセンター伊野において、いの町あったかふれあいセンターに集う男性メンバーで結成された「Gの会」が、JA高知県助けあい組織仁淀川地区の「赤い禪隊」の方と一緒に、料理を通じた交流会を実施しました。

卵焼きやサラダなどの定番料理から、トンカツなどの難易度の高い料理まで6種類を作り、懇親会で食べる大皿料理を作りました。調理中もお互いのメンバー同士で会話を楽しみ、有意義な交流会となりました。

懇親会では、緊張もほぐれお互いの趣味の話や活動の話など楽しそうな声が聞こえ、また次も交流会をしたいと話されていました。

Gの会のメンバーは、次回の佐川町での交流会を楽しみにしています。



いの町農福連携サミットを開催しました (いの町農福連携事業)

農業と福祉が連携し、障がい者等の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障がい者等の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取り組み

8月1日(金)すこやかセンター伊野において、いの町農福連携サミットが開催され、農福連携の取り組みに関心がある方々73名の参加がありました。

当日は、鹿児島県のNPO法人たがやすの理事である天野雄一郎氏から「福祉と農が交わるとき～大隅半島からみる農福連携の可能性～」、大隅半島ノウフクコンソーシアムの理事である結城康文氏から「敬心グループの取り組みについて」の講演があり、県外の農福連携の現状を知ることができました。

その後、高知県立精神保健福祉センター所長の山崎正雄氏が、参加者の意見をまとめ共有することができました。

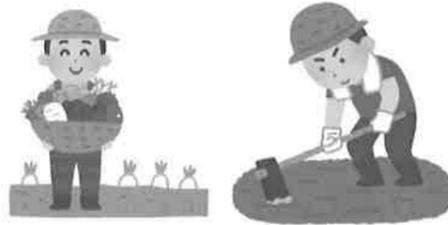
参加者から「農家と福祉が連携する事で、お互いにメリットがある良い取り組みですね。」「農福連携事業の事を知って、自分たちの視野も広がりました。」という声が聞かれました。



NPO法人たがやす 天野 雄一郎氏



大隅半島ノウフクコンソーシアム 結城 康文氏



実習生の受け入れ 高知県立大学 社会福祉学部

8月12日(火)～9月18日(木)の期間、いの町社会福祉協議会では、社会福祉士を目指す実習生2名を受け入れ、相談援助の実習を行いました。地域に根ざした支援の現場で、住民の皆さんの声に耳を傾けながら、社会福祉協議会の役割や実際の支援方法を学びました。

この実習は、将来社会福祉士として活躍するための一歩であると同時に、いの町社会福祉協議会においても、若い世代と共に地域福祉を見つめ直す貴重な機会となりました。



宮脇 風花さん

人との繋がりの大切さを実感しました。住民に寄り添い、地域に貢献できる社会福祉士を目指して努力します。



田北 耕太郎さん

実習中は様々な気づきの連続でした。住み慣れた地域で生きることを一緒に考えられる社会福祉士を目指します。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金



今年も10月1日から全国一斉に募金運動が始まります

共同募金は、さまざまな地域福祉の問題解決に取り組む民間団体を支援し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう「じぶんの町を良くするしくみ」として募金運動を進めています。

今年度も皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

いの町における共同募金

皆さまからお寄せいただいた募金は、いの町共同募金委員会(事務局:いの町社会福祉協議会)がとりまとめ、高知県共同募金委員会に送ります。「赤い羽根共同募金」の約7割がいの町共同募金委員会に配分され、次年度にいの町の福祉活動を応援する地域助成金として活用します。残りの約3割は市町村を越えた広域での活動や、災害準備金など災害の備えのために使われます。

また、「歳末たすけあい募金」は当年度のうちにいの町共同募金委員会に全額配分され、高齢者への配食事業や住居環境の整備・補修、生活困窮者への支援などに使われています。

【令和6年度募金実績】 (円)

戸別募金	2,084,603
街頭募金	65,418
法人募金	490,000
学校募金	97,234
職域募金	81,633
その他の募金	42,038
歳末たすけあい募金	709,606
合計	3,570,532

ありがとう!



赤い羽共同募金配分助成金を「地域のための身近な福祉活動」に助成します。

「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくり」や「地域をよりよくしていこう」と福祉活動をする企業や福祉団体・ボランティア団体の活動を支援します。

事業実施期間 : 令和8年4月1日から令和9年3月31日

助成額 : 1団体につき25,000円まで

申請方法 : 申請書類にご記入の上、下記事務局まで提出

申請期間 : 令和7年10月1日(水)から令和7年12月22日(月)

審査決定通知 : 令和8年3月末日

※申請をご希望の団体や、ご質問等は下記事務局までお問い合わせください。



【お問い合わせ先】

〒781-2110 いの町1400番地 すこやかセンター伊野内

いの町共同募金委員会事務局 (いの町社会福祉協議会内) ☎ 088 (892) 0515

フードバンクへのご協力をお願いします

フードバンクとは、各ご家庭や企業等で使いきれない未使用の食品を持ち寄り、食事に困っている方々へお渡しする活動です。皆さまのご家庭に眠っているまだ食べられる食品をお持ちください。

いの町社会福祉協議会では、フードバンクを実施し、生活困窮者等へお届けしています。あなたの優しさが誰かの笑顔に繋がります。*消費期限が1ヶ月以上残っている物をお願いします。

【お礼】
10名の匿名の方にフードバンク(食料品)へのご寄付をいただきました。
厚くお礼申し上げます。
(令和7年6月1日)
(令和7年8月31日)



サンプラザ新鮮館天王 いの町社会福祉協議会

それぞれに専用のボックスを設置しています。ぜひお持ちください！



- ① ユニバーサルデザインフード(UDF)
- ② ナチュラルフード
- ③ オーガニックフード
- ④ マクロビオテック
- ⑤ スマイルケア食

年齢や障がいの有無にかかわらず、すべての人が利用できるように設計された食品を、何と云うでしょうか？

みんなの福祉プロジェクトを応援しよう！



いの町社会福祉協議会が行っている事業や、地域の福祉団体の活動を定期的にインスタグラムに載せています。「仕事で忙しい」「町外に住んでいる」など、普段なかなか社協だよりを見る機会がない方などにぜひ始めてみてください。
下記のQRコードからフォローしてみてください。
@INOCHOUSHAKYO



インスタグラムのご案内
いの町しゃきゅんぱん

*正解は次のページの下にあります。



「あのねー」と、社協職員と相談ください。
お金のこと、生活のこと、ご家族のことなどに相談したら良いか分からないなど、なんでもお気軽にご相談ください。

なまめ相談『あのね』の窓口

皆さまのまめなご質問にお答えいたします
氏原富士子 森木真理 伊藤富子 伊野福祉会
樹近澤建設 尙大榮工務店
伊野ライオンズクラブ 池ノ内長寿会
天王子ども会育成会 天王友輪会
本川中学校 伊野幼稚園
いの町役場(総務課・町民課)
本川地区民生委員児童委員協議会
吾北地区民生委員児童委員協議会
(順不同・敬称略)
(令和7年6月1日~令和7年8月31日)



使用済み切手の寄付のご紹介

日時 平日 午前9時~午後5時
場所 いの町社会福祉協議会
電話での相談も受け付けます。
本所 ☎0888(892) 0515
吾北支所 ☎0888(867) 2820
本川支所 ☎0888(869) 2071



中央西広域老人クラブ連合会 総会・研修会

8月7日(木)日高村社会福祉センターで、中央西広域老人クラブ連合会の総会及び研修会が開催されました。現在は、佐川町・日高村・いの町の3町村での活動ですが、それぞれの特色を生かした事業に取り組んでいます。当日も活発な質疑応答を経て、すべての議案が承認されました。

また、総会後の研修会では、令和5年6月に完成した新日下川放水路のトンネルを見学しました。一部分でしたがトンネルを歩きながら、日高村観光協会 高野雄司事務局長から、水害に強い村づくりを進めている日高村の治水対策について説明がありました。

短い時間ではありましたが、有意義な研修となりました。



総会：日高村社会福祉センター



研修会：新日下川放水路トンネル内

いの町身体障害者連盟 軽スポーツ大会

9月4日(木)吾北中央公民館において、いの町身体障害者連盟軽スポーツ大会を開催しました。当日は会員22名の参加があり、室内で誰もが簡単に出来るボッチャを楽しみました。

初めて挑戦する方もいましたが、すぐルールにも慣れて、的となるジャックボールをめがけて自身のボールを慎重、かつ大胆に投げていました。そして、ナイスショットには大きな拍手も起こっていました。

いの町身体障害者連盟では、こういった誰もが簡単にできるスポーツなどを通じて親交を深めています。





民生委員児童委員だより

地域における身近な相談相手である民生委員児童委員の皆さんは、町内外の研修会に参加して知見を広げ、日々の活動に繋げています。今回は、今年7月に行われた2つの研修会についてお知らせします。

3地区合同交流研修会

〔7月8日(火) 吾北・清水地区〕

町内3地区(伊野・吾北・本川)の委員が、地域への理解と委員同士の交流を目的に毎年開催しています。

今年は委員62名が四国電力株式会社分水第一発電所を訪れ、発電の仕組みや設備等について学びました。

発電所の上流にある茅葺き屋根の古民家や新しく遊歩道が整備された「にこ淵」を見学し、研修後はグリーンパークほどの交流会を行いました。



中央西ブロック研修会

〔7月29日(火) 佐川町立桜座〕

「支えあう 住みよい社会 地域から」をテーマに、誰もが住み慣れた地域で安全、安心して暮らすことのできる地域づくりをさらに充実させ、関係機関・団体と協働して組織的な活動を図ることを目的として開催しています。

本年度は、本川地区の主任児童委員 増井千明氏が「子育てを楽しめる親を目指して」と題し、活動事例発表を行いました。

本川地区の保護者の皆さんを対象に「ひだまり」というお便りを発行しており、その中からいくつかピックアップして、子育てに関する情報や子どもたちの様子をお話しされていました。



活動事例発表を行う増井氏

【正解】① ユニバーサルデザインフードには、レトルト食品や冷凍食品の他、とろみ調整食品があります。全国のスーパーやドラッグストアだけでなく、自動販売機でも売られています。ぜひ、チェックしてみてください。